

広告

宇部興産中央病院医療最前線  
 シリーズ 患者さんに寄り添う専門医療 ⑧

# 内視鏡外科手術

## 特に腹腔鏡下胃がん

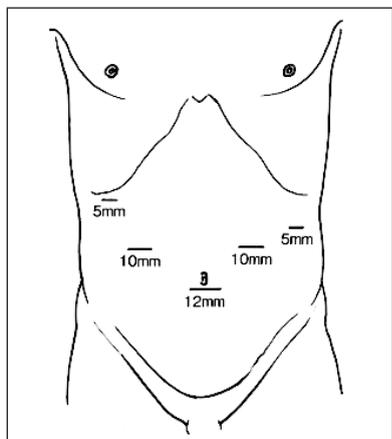
### 手術について



外科部長  
多田 耕輔

手術からの回復が早いことがメリットである一方、小さい傷からある程度動きが制限された状態での手術であるため、開腹手術と比べると操作が難しく、技術が要求されることがデメリットといえるでしょう。

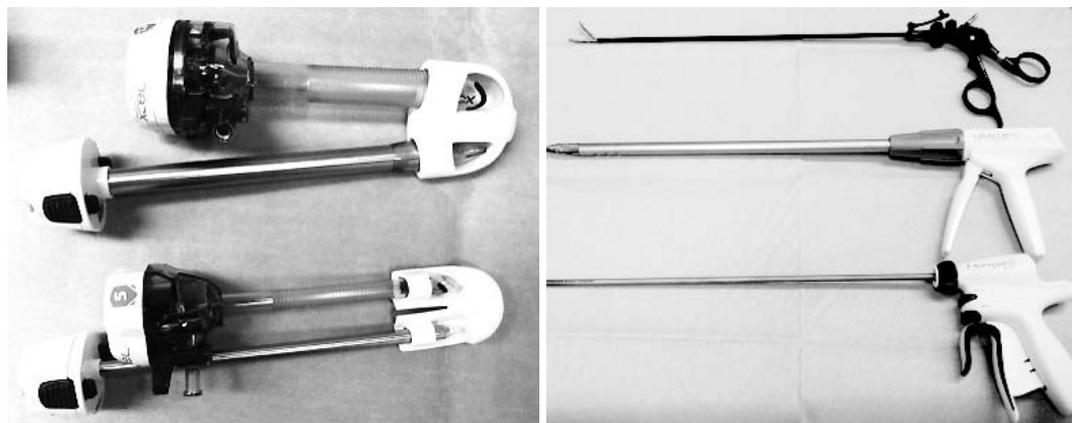
内視鏡により映し出された映像を見ながら特殊な器具を用いる手術、すなわち内視鏡外科手術は、1990年に日本で初めての腹腔鏡下の胆嚢(のう)摘出術が行われたことが始まりでした。そして91年には世界に先駆けて日本では日本初の腹腔鏡下大腸切除が行われ、約四半世紀を経て内視鏡外科は急速に発達してきました。現在では、胆嚢や胃、大腸はもとより肝臓、膵臓、食道などに対しても適応が拡大され、今後さらに発展していくものと考えられます。今回は胃がんに対する内視鏡外科手術である、腹腔鏡下胃切除術を中心にお話しいたします。



腹腔鏡下胃切除の際の部位

当院でも同様ですが、全国的には腹腔鏡下胃切除の適応は早期胃がん症例とされています。腹腔鏡下胃切除ではまず臍(さい)部に1か所と、左右の側腹壁に2か所ずつ5mmから1cmほどの合計5か所の穴をあけ、手術器具の経路となるポートを挿入し、手術を行うスペースを確保するため腹腔内に二酸化炭素を注入し気腹します。

そして、内視鏡映像の下で特殊な鉗子や超音波メスなどを胃と所属リンパ節を切除した後、小さく開腹し標本の摘出と消化管の再建を行うというのが本手術の概略です。従来の開腹による胃切除と比べ腹部の傷が小さく、術後の痛みが軽く、



内視鏡手術の器具

現在、宇部興産中央病院ではハイビジョン内視鏡など高度な機器が設置されており、早期胃がんはもとより、胆嚢疾患、虫垂炎、大腸・直腸がん、鼠径(そけい)ヘルニアなどに対しても内視鏡外科手術を行っており、安全で患者様ファーストな手術を心がけております。内視鏡外科手術に興味がある患者様は、当院の外科・消化器外科専門医にご相談ください。

宇部興産中央病院は**地域医療支援病院**です



〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750番地  
 地域連携室 ☎0836-51-9421

専門分野	認定医・専門医・指導医	得意とする診療内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>●消化器外科</li> <li>●乳腺外科</li> <li>●肝胆脾外科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本外科学会認定医・専門医・指導医</li> <li>●日本消化器外科学会専門医・指導医</li> <li>●日本臨床腫瘍学会 暫定指導医</li> <li>●日本消化器癌外科治療がん治療認定医</li> <li>●検診マンモグラフィー読影認定医</li> <li>●日本乳癌学会認定医</li> <li>●日本癌治療認定医機構がん治療認定医</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外科一般</li> <li>●消化器外科</li> <li>●内視鏡外科</li> <li>●乳腺外科</li> <li>●癌化学療法</li> </ul>